

WELFARE INFORMATION GIFU

福祉だより ぎふ

福祉の職場体験 オンラインツアー を開催しました!



CONTENTS

2023

9

No.728



ともしん



愛でん と 希望ん

- 今年の夏は「介護の世界」体験しちゃう?! P2・3
～福祉の職場体験オンラインツアーを開催しました～
- 気にかけて関係性を築く～美濃加茂市下米田単位民児協～ ... P4
- 子どもの居場所活動紹介コーナー P5
- 岐阜県ボランティア・市民活動webセミナー開催のお知らせ
- 岐阜福祉の杜オンラインおすすめ商品紹介 P6
- 第71回 岐阜県社会福祉大会のお知らせ P7
- 「岐阜福祉の杜」開催案内
- 10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります P8

今年の夏は「介護の世界」体験しちゃおう?!

福祉の職場体験オンラインツアーを開催しました

岐阜県社会福祉協議会（岐阜県福祉人材総合支援センター）では、県内の小中学生をメインターゲットとし、福祉のお仕事の魅力を発信するため「福祉の職場体験オンラインツアー」を毎年実施しています。今年は、県内の介護施設と専門学校の協力のもと、介護のお仕事の様子ややりがいを発信する動画を撮影しました。さらに、視聴申込者には、体験グッズをプレゼントし、動画を見ながら一緒に体験できる動画コンテンツを制作しました。今回は、動画の撮影現場の様子や、それぞれのオンラインツアーの内容をご紹介します。

★視聴申込者多数！

今年度は、7月1日～7月30日まで、福祉の職場体験オンラインツアーの特設Webサイトから、視聴申込を募集しました。募集の結果、141組（405名）という、たくさんの方からお申込みをいただきました。

受付期間内にお申込みいただいた方には、動画を見ながら使用できる体験グッズをプレゼントし、8月8日～8月31日まで、申込者限定で動画を公開しました。

今回は、社会福祉法人美谷会 特別養護老人ホーム飛鳥美谷苑、医療法人恵雄会 介護老人保健施設こころ、サンビレッジ国際医療福祉専門学校との3団体に、動画撮影のご協力をいただきました。施設見学やインタビュー等様々な内容で、福祉のお仕事や福祉を学ぶ魅力について発信していただきました。

★〇〇使って飲み込みやすく

特別養護老人ホーム飛鳥美谷苑では、施設の職員さん利用者様に協力いただき、施設内の紹介や、職員さんの一日の仕事の様子、介護食体験、インタビューなどたくさんシーンを撮影しました。日常業務の合間に撮影を行う



★〇〇でラクラク移動



ため、撮影する部屋や対応する職員さんの順番など、念入りに打ち合わせをしました。「まもなく昼食の時間なので、次は食事風景の撮影です!」「まもなく担当職員が戻るので、送迎車の撮影いきましよう!」職員さん同士の見事な連携プレーのおかげで、撮影はとてもスムーズに進み、普段の業務においても連携を取りながら利用者様を支援されている様子を垣間見ることができました。また、とろみ剤を使用して、視聴者に介護食を体験してもらうコーナーを撮影しました。栄養士さんが手作りの図を用いて、高齢者の方の食事で、なぜとろみ剤を使用するのか、わかりやすく解説していただきました。



介護老人保健施設こころでは、施設内の見学ツアー、介助体験、職員さんのインタビューコーナーの撮影を行いました。施設内の見学ツアーでは、素敵な中庭や景色がとても綺麗な屋上庭園等、施設の見どころをたっぷりご紹介いただきました。また、事前に施設で撮影していただいた動画も使用してオンラインツアーを制作するため、職員さんには動画の内容を説明する、ナレーションの録音にもご協力いただきました。撮影の際には、施設の利用者

様にもご協力いただきました。その際に、職員さんが利用者様に温かく寄り添う姿が印象的で、職員さんと利用者様の素敵な笑顔を見ることができました。体験コーナーでは、3名の職員さんにご協力いただき、ベッドの上で腰を痛めにくい介助方法について、解説をしていただきました。介助の際に使用する介護用品「スライディングシート」の代用品として、「レジャーシート」を視聴者に配布し、シートを使用することで、楽に介助ができるコツを実演を交えながら紹介していただきました。



★手も心も温まる♡

サンビレッジ国際医療福祉専門学校では、学内見学ツアー、介護の授業の様子、学生さんと先生のインタビュコーナーの撮影を行いました。学内見

学ツアーでは、調理実習や電子黒板等ICT機器を使用した国語等、様々な授業の様子をご紹介いただきました。介護実習室での授業では、学生さんがベッドのシーツ交換と着替えの介助を実演してくださいました。どの授業も学生の皆さんが真剣な眼差しで学ばれている様子が印象的でした。体験コーナーでは、自宅にあるもので手軽に体験できる「手浴」をご紹介いただきました。手浴は手を温めるだけでなく、相手の方とお話してコミュニケーションをとりながら行うことが大切であるとのことでした。インタビュコーナーでは、2名の学生さんにご協力いただきました。介護のお仕事を目指したきっかけや、専門学校で介護を



学ぶ魅力、将来の目標などを、自分の言葉でいきいきと語ってくださいました。



★オンラインツアーを終えて

オンラインツアーの視聴者からは、「子どもは、介護施設を見たことがなく、知ることができたことを喜んでいました。」「ちよこつと体験がよかった。レジャーシートで母を動かさせてびっくりした。」「介護士の方が、楽しそうに関わりを持って働いている姿を見ることができてよかったです。」等の感想をいただきました。多くの視聴者が、動画を通して、楽しく体験しながら福祉の仕事の魅力に触れることができたオンラインツアーとなりました。

今回制作した、福祉の職場体験オンラインツアーの動画は、9月15日よりYouTubeにて一般公開します。ぜひご覧ください。(体験グッズの申込期間は終了しております。)

今後、岐阜県福祉人材総合支援センターでは、福祉のお仕事魅力発信イベント第2弾「ぶくしワールド」を11月11日にカラフルタウン岐阜で開催します。イベント情報は、岐阜県福祉人材総合支援センターホームページにて、順次ご紹介いたします。また、X (Twitter)「ぎふ福祉の魅力情報BOX」では、引き続き福祉のお仕事の魅力を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。



X (Twitter)
ぎふ福祉の魅力
情報BOX☆



オンラインツアーの
動画はこちら
(福祉の職場体験
オンラインツアー
特設Webサイト)



岐阜県福祉
人材総合支援センター
ホームページは
こちら

気にかけて合う関係性を築く

～美濃加茂市下米田単位民児協～



美濃加茂市の 下米田地域をめぐる

美濃加茂市は、岐阜県の中南部に位置し、「飛騨木曾川国定公園」内にある景勝地であり、令和6年度には市制70周年を迎える歴史ある街です。古くは、中山道の3大難所の「太田の渡し」のある「中山道太田宿」として栄え、現在も歴史的景観が保たれています。

その中でも下米田地区は、美濃加茂市を流れる飛騨川の東・木曾川の北に位置し、さくらの森公園、小山観音、諏訪神社の祭礼・米田白山「美濃の手



▲下米田から眺める木曾川

軽な低山遊歩道コース」、津田佐右吉博士生誕の地など、人と文化と歴史と自然の調和がとれた心地よい時間が流れる地域です。

「見守りマップ」 「見守りパートナー」

下米田地域の調和がまちづくり活動を活発にしており、私たち民生委員・児童委員(8名)及び主任児童委員(2名)も下米田地域のまちづくり協議会や支部社協活動に積極的に参加しています。立場を超えて、一人の下米田の住人として、お互いを気にかけて、誰もが安心して暮らすことのできる地域の実現に貢献しようと思っかけています。

このように役割に促されることなく、住民と同じ目線で同じ生活者としての感性を大切に、私たちに何が求められているかを考えるきっかけにしたいと思っています。

具体的には、地域見守り会議にて、各地区の民生委員・児童委員、自治会長、福祉委員により『見守りマップ』を作成し、独居高齢者・高齢者夫婦世帯及び障がい者世帯等の情報を定期的により共有しています。情報の可視化により、近所さんへの見守り活動の協力

を依頼し『見守りパートナー』の活動を推進しています。災害発生時に限らず、日頃からの挨拶や交流などを通して、つながりを大切にした見守り活動を通じて、どんな時でも「助けて」と言える「お互いさま」の実感できる地域を目指しています。

まちづくり協議会との活動

まちづくり協議会の活動に(健康医療福祉部会、交通防犯環境防災部会、子育て教育部会、歴史文化部会、若者雇用部会、産業観光部会)民生委員・児童委員及び主任児童委員としても積極的に参加し「下米田をより良い地域に」「下米田で安心して暮らすために」という下米田愛を軸にして集り、多岐に渡り特色のある活動に参加しています。

例えば、健康やフレイル予防につながるウォーキング活動、地域の景観や治安の維持を目的としたクリーン大作戦、子育て世代の母親がハンドメイド作品や農作物の販売をしながら、お互いの情報交換や悩みを共有出来るようにバザー企画、地域の夏祭りでの竹灯籠づくり、米田白山の登山道へのレスキューポイントの設置により、市内外の登山者の方にもおもてなしを届ける活動も行っています。

このような住民との垣根のない関係性を築きつつ、避難行動要支援者への家庭訪問や独居高齢者への声かけ、まちづくり活動へのお誘いなど、住民と住民をつなぐ役割を担っています。

「生きる」を共にする 下米田のつながり

これらの活動は、住民の方々が気軽に参加し、その場で「出会い・語り合い交流する」という機会の創出につながります。住民同士が、お互いに「顔見知り」「顔なじみ」の関係を築き、「人となりがわかる」ことにより、子どもも大人もすべての人が安心して暮らすことができるのだと思います。

今後、このように「生きるを共にする下米田のひとりの住民」として、また民生委員・児童委員及び主任児童委員としても、行政や社会福祉協議会・下米田地域のまちづくり協議会・支部社協活動と連携し、地域の皆さんに寄り添った見守り活動を通じ、お互いさまの優しさ溢れる地域共生社会の実現を目指していきたいと思っています。



▲地域見守り会議の様子

子どもの居場所

活動紹介コーナー

子どもの居場所応援センターです。
今回は岐阜の2団体をご紹介します。

一般社団法人 子ども食堂 ナナカフェ

2023年4月1日、岐阜市河渡に全世代型子ども食堂「ナナカフェ」はオープンしました。50才を過ぎて大病を患ったことをきっかけに、「今まで助けられてばかりの人生、そうだ、こども食堂やろう」と思い立ったのが活動のきっかけです。活動を続けていると朝食を食べていない子どもたちが大勢いることに気がつきました。食堂に来る子どもたちの様子が、経済的理由で朝食どころか、たびたび食事なしで過ごした幼少期の経験をと重なり、「こどもが朝食抜きで親は食べているのか?」と心配になりました。「まずはおなかいっぱい! 朝昼食べ放題」がナナカフェのモットー。「まずはおなかいっぱい、落ち着いたらお話ししましょう。味方は沢山いる。辛い時は、助けてーと叫べばいい、恥ずかしいことなどない。」と願いを込めて、これからも食堂を開催し続けます。



やまのおてらの子ども食堂

2018年に災害ボランティアの経験や防災士の知識を防災啓発するために設立、その後子どもたちへの防災啓発や各家庭における子どもたちの置かれた様々な環境を支援するため現在の体制となりました。現在は長森地区にあります岩戸弘法弘峰寺にて「やまのおてらの子ども食堂」を毎月第2土曜日に開催しております。毎月おいしいカレーやお惣菜・手作りプリンを提供させていただき、子どもの居場所応援センターからいただいたお菓子等をお土産としてお渡ししています。また華陽公民館にて公民館サークル「若者のIBASYO」を毎週月曜日(18時~20時45分まで)に行っております。



詳しくはInstagramで告知しております。どうぞご覧ください。

岐阜県子どもの居場所応援センター TEL 058-278-7050

今回の
子どもの居場所紹介も
ぜひお楽しみに!!

令和5年度 岐阜県ボランティア・市民活動webセミナー開催のお知らせ

地域での暮らしや課題について知り、ボランティア・市民活動のあり方を考えるためWebセミナーを開催します。
5つのテーマを設けて実施しますので是非ご参加下さい。

《参加対象》地域や地域課題に関心のある方、ボランティア・市民活動者、NPO・社協職員、市町村のNPO担当課・福祉担当課職員

《参加方法》オンライン(Zoom使用)

《申込方法》本会HP掲載のGoogleフォームから、お申込みください。

【岐阜県ボランティア・市民活動webセミナーで検索】

参加費無料



第1回 9月14日(木) 13:30~16:00

多文化共生について(防災と災害から考える)

実践レポート

「外国人住民も対象にした防災の取り組みについて」

(特非)可児市国際交流協会 事務局長 各務 真弓 氏

「被災した外国人住民への支援について」

(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部 部長 須藤 伸子 氏

講演

「お互いを知り、助け合えるコミュニティづくりをめざして」

(特非)すみだ多文化共生交流会 事務局長 刈谷 仁路志 氏

第2回 10月12日(木) 13:30~16:00

企業と非営利団体の協働について

実践レポート

県内で社会貢献活動及びNPOとの協働を行う企業からの報告

講演

「企業と非営利団体が力を合わせてできること、得られること」

(特非)泉京・垂井 副代表理事 神田 浩史 氏

第3回 11月8日(木) 13:30~16:30

ボランティア活動のための傾聴とコミュニケーション

講義・実習

「ボランティア・市民活動に役立つ傾聴とコミュニケーション」 夢ころぼ 主宰 松尾 やよい 氏

第4回 12月6日(木) 13:30~16:00

ヤングケアラーを地域で支えることについて

実践レポート

「経験者からの報告」

(特非)ふうせんの会 経験者の方(予定)

「ケアラーを地域で支えるために必要なこと」

(特非)ケアラーネットみちくさ 理事長 布川 佐登美 氏

講演

「ヤングケアラーの基礎知識とその支援について」

「生活困窮世帯への学習支援・家庭訪問で子どもたちから学んだこと」

(一社)彩の国子ども・若者支援ネットワーク(アスポート)

統括責任者 土屋 匠宇三 氏

第5回 1月16日(木) 13:30~16:00

高齢者・障がい者の支援(社会的孤立とセルフネグレクト)

実践レポート

「社会的孤立を防ぐための居場所づくりの取り組み」

(社福)境港市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 志賀 智子 氏

「セルフネグレクト状態にある方への生活支援について」

(特非)清爽力 理事 大沢 竜也 氏

講演

「社会的孤立とセルフネグレクト:どう支援につなげるのか」

日本福祉大学社会福祉学部 教授 斉藤 雅茂 氏



おすすめ商品紹介 1

カーステッカー

販売価格 600円 (税込・送料込)



当事業所は、令和4年2月に開業し、イラストやロゴのデザイン作成の作業を行ってきました。ご利用者がデザインしたオリジナル商品を作成したいと思い、10種類のカーステッカーを作成いたしました。イメージの考案からイラスト作成までご利用者が行い、職員と話し合いを重ねて完成した愛着があるステッカーです。

掲載させていただいた「DOG IN CAR」ステッカーは、愛犬家の方にオススメで、こちらのステッカーは色がシンプルなので、どの車種に貼っても合います。シールタイプですので、取り外しはできませんがガラス部分にも貼ることができます。

その他にも愛猫家の方、高齢者の方、お子様を乗せて運転する方向けのステッカーなどもございますので、是非福祉の杜オンラインショップをご覧くださいね。

事業所紹介



製造事業所 エスポギフ
株式会社 エリア・ワン

espo岐阜(エスポギフ)は、令和4年に美濃加茂市にオープンした「好き」を仕事にできる就労支援施設です。イラスト作成・ロゴデザイン・動画編集・eスポーツなど、あらゆるジャンルに挑戦しております！主にパソコンを使った作業を行っておりますが、クラフトテープでハンドメイド雑貨の作成も行っております。

岐阜県美濃加茂市太田町2481-1 TEL:0574-27-5551 FAX:0574-27-5552
<https://espo-gifu.com>



おすすめ商品紹介 2

ごはんやお あんしんボックス

販売価格 4,233円～ (税込・送料込)

災害時に何よりもまず必要なのは「食」の確保。アルファ化米「ごはんやお」は、「ふるさとの米をふるさとの水で炊き上げた安全安心な防災米」をコンセプトに誕生した、長期保存可能な防災用備蓄食です。大粒で食味の良い岐阜県産ハツシモを100%使用しています。

「あんしんボックス」は、おひとり様3食×3日分の「ごはんやお」をセットにした、ご家庭での備蓄に便利な9食入りボックスです。災害時の「72時間の壁」を乗り越える備えに最適です。お湯を注いで15分、水なら60分で食べられます。食物アレルギー特定原材料等28品目不使用、環境にやさしく食べやすいバイオプラスチック素材のフォークスプーン付です。白飯、五目、きのこ、わかめ、アソート(左上写真)の各セットがあります。

秋は防災シーズン、身の回りの備えを見直してみてもいいかもしれません。

事業所紹介



製造事業所
株式会社 ドウメンテックス

株式会社ドウメンテックスはドルフィン株式会社の特例子会社として、すべての人々に居場所と出番を創出することを目標に事業を展開しています。

「ごはんやお」を製造する岐阜作業所は、岐阜県福祉のまちづくり条例に対応した、誰もが働きやすい空間づくりをコンセプトとしたバリアフリー仕様。一般社団法人光陽福祉会との協業体制により、障害者の就労訓練の場を構築しています。

岐阜県岐阜市福田町2-32 TEL:0582-96-7770 FAX:058-296-7780
<https://do-maintechs.com/gohanyao/>

岐阜福祉の杜オンラインショップ



URL入力の場合は
<https://gifu-fukushinomori.com>

第71回 岐阜県社会福祉大会のお知らせ

第71回岐阜県社会福祉大会を開催しますのでぜひご参加ください。

開催日

令和5年

10月31日(火)



● 会場 長良川国際会議場 メインホール「さらさ〜ら」

● 参加費 無料 ● 定員 1,500名

● 日程 受付 12:30~13:00

式典 13:00~13:50

記念講演 14:10~15:40

「生きる力〜困難を乗り越えるためのヒント〜」

講師 元フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏

長良川国際会議場
(岐阜市長良福光2695-2)



参加申込

QRコードを読み取りGoogleフォームより
10月10日までにお申込みください。

お問い合わせ先 岐阜県社会福祉協議会 総務企画部
TEL: 058-201-1545

～障がい者就労支援事業所 商品展示販売会～

毎回、ご好評を頂いております障がい者就労支援事業所商品展示販売会「岐阜福祉の杜」について、今後の開催予定は、右の通りです。
(令和5年度: 全10回開催予定)

岐阜県内の障がい者就労支援事業所で作られる食品や雑貨、日用品などを取り揃えております。皆様のお越しをお待ちしております。

お問い合わせ先 岐阜県社会福祉協議会 施設人材部 (担当: 山田)
〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 TEL 058-201-1561

「岐阜福祉の杜」開催案内

第4回

日時 令和5年

10月13日(金)~10月17日(火)

10:00~17:00

(最終日のみ10:00~16:30)

会場

アクティブG 2Fふれあい広場(予定)

令和5年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額			
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	基本補償(A型) 2億円・10億円	見舞費用付補償(B型) 2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用	死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円	

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

プラン1 オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

令和5年度共同募金運動要綱策定

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります

社会福祉法第119条の規定に基づき、共同募金の目標額、受配者の範囲及び配分方法を理事会・評議員会において決定いたしました。昭和22年に始まりました共同募金運動は、今年77回目を迎え、次の運動要綱により10月1日から実施いたします。赤い羽根共同募金運動に、皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

令和5年度共同募金運動要綱

1. 目的

共同募金運動は、住民相互のたすけあいに支えられ77回目を迎えました。

今日の急速な少子・高齢化が進行するなかで、住民の社会福祉に対する意識も変化し、ボランティアや市民活動団体の活動に見られるように、住民みずからが主体的に多様な社会福祉の課題に果敢に取り組む試みがふえ、地域における民間社会福祉が新たな発展の時期を迎えております。

このような状況のなかで、共同募金運動は、住民相互のたすけあいを基調とし、地域福祉の推進を目的として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、多様な民間社会福祉活動を財源面から支援する役割を果たすことが求められています。

共同募金会は、共同募金という仕組みを、社会に継承していくべき重要な県民の財産である「公器」と自覚し、地域住民にとって、わかりやすく透明性のある参加しやすい運営に努め、寄付の文化の発展を目指し、寄付者の意思を尊重した住民相互の「たすけあいの心」から行われる共同募金運動を積極的に推進いたします。



2. 全国共通シンボル 赤い羽根

3. 募金目標額 349,255,000円 (1) 赤い羽根募金 277,065,000円
(2) 歳末たすけあい募金 72,190,000円

4. 募金期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日

ただし、市町村支会・分会・共同募金委員会の募金運動期間は、令和5年12月31日までの3か月間とし、岐阜県共同募金会本部での広報活動を兼ねたイベント募金などは翌年の3月31日までとする。



『ミナモバッジ』リニューアル ～赤い羽根グッズ募金・カプセル募金～



新しいデザインの
赤い羽根ミナモバッジだよ



共同募金会では、募金の増強を図るため、ガチャガチャと呼ばれるカプセル玩具販売機を使用した「カプセル募金」や300円以上の寄付をいただいた方への寄付済証としてお渡しする「グッズ募金」に積極的に取り組んでいます。

今回、従来から活用していた岐阜県のマスコットキャラクター「ミナモ」のピンバッジのデザインをリニューアルして、新たに作製いたしました。市町村支会・分会・共同募金委員会や福祉施設、関係機関・団体等が実施するイベント時などに活用していきますので、皆様のご協力をお願いいたします

<岐阜県共同募金会 TEL (058) 201-1591>

*本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

発行所 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

TEL (058) 201-1545 FAX (058) 275-4858 ホームページアドレス <https://www.winc.or.jp/> 購読料30円は会費に含む 毎月1回・15日発行